

東アジアの若者はいま —日本のマンガ文化を中心に—

今や、海外で広く流行している日本のマンガ文化。特に東アジアでは各地の若者文化に大きな影響をもたらしています。

韓国、台湾、シンガポールからの発表・実演を通して、生活のスタイルや男女の描かれ方など、身近なところから、グローバルに広がるマンガ文化について、一緒に考えてみませんか。

シンガポール人
マンガ家も
来るよ♪

参加無料

日時 2012年 1月28日(土)
13:30~15:40

場所 北九州市立男女共同参画センター
ムーブ 5階大セミナールーム
(北九州市小倉北区大手町11-4)

定員 先着100名(どなたでもどうぞ)

主催 財アジア女性交流・研究フォーラム

共催 東アジア学会

後援 北九州市

託児 必要な方は1月18日までにお申込みください。
(6か月~未就学児 1人300円)



お申込み方法

①参加される方の氏名、②電話番号を、Email、FAX、電話、またはホームページよりお知らせください。

財アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW) 大石、中村
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
北九州市大手町ビル3F
Tel: (093) 583-3434, Fax: (093) 583-5195,
E-mail: info@kfaw.or.jp URL: <http://www.kfaw.or.jp>



オンライン申込フォームはこちら



プログラム

13:30 開会

13:35 基調報告

「日本のマンガ文化と海外への越境現象～少女マンガを中心として」

大城房美 筑紫女学園大学文学部教授

13:55 「日本のマンガ文化と私の国のマンガ文化」

キム・ヒョジン (韓国・高麗大学助教授)

トウ・ミンフン (台湾・淡江大学助教授)

エフ・エス・シー

F S c (シンガポール・マンガ家)



©FScによる作品
『year of the tiger』

14:40 休憩【会場からの質問メモ受付】

14:50 意見交換

「各国マンガ/MANGAに描かれるジェンダー表現」

(質問者) 草野良枝 (北九州市立大学 外国語学部3年、東アジア学会)

中川佳彦 (九州工業大学大学院 生命体工学研究科2年)

15:40 閉会

参加者プロフィール

大城房美 (日本)

海外で広く受容されているマンガ文化とジェンダーの関わりについて、特に「女性」作家/読者/表現を中心として探求中。専門は比較文化・比較文学、女性学。日本マンガ学会九州マンガ交流部会、女性MANGA研究プロジェクト代表を務める。

キム・ヒョジン (韓国)

オタク文化を中心に、現代の大衆文化及びジェンダーの政治学等を主な研究テーマとしている。専門は文化人類学。

トウ・ミンフン (台湾)

文学と芸術の相互関係、東アジアのポップカルチャー、とりわけ比較マンガ研究に関心がある。専門は比較文学。

FSc (シンガポール)

シンガポール人マンガ家。1990年後半のデビュー以降、シンガポール、アメリカ、日本、台湾で作品を発表し、国境を越えて人気を集めている。

ムーブ1階交流ひろばにて「マンガ/MANGAに描かれる今どきの男女」

パネル展示(平成24年1月13日～28日)を行います♪